

# RIKEN

株式会社 リケン

## 株主の皆様へ

第95期 第2四半期報告書

平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日

# RIKEN CORPORATION

## 株主の皆様へ



代表取締役社長（CEO兼COO） **伊藤 薫**

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成30年9月30日をもって第95期第2四半期を終了しましたので、ここに第2四半期報告書をお届けして、事業の概況についてご報告申し上げます。何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国は好調な企業業績に支えられ成長を維持し、欧州経済も堅調に推移しました。インド、インドネシア、タイなどのアジア経済も安定した成長が続きましたが、中国経済は貿易摩擦もあり減速基調となりました。

わが国経済は、豪雨被害等があったものの個人消費や設備投資は堅調で、緩やかな回復が続きました。

当社グループと関連の深い自動車産業の自動車生産台数は全世界では2.3%の増加となりましたが、米国は1.9%の減少、欧州、中国などは微増、インドなどアジアでは増加となるなど、地域により跛行性が生じました。

国内の自動車生産台数は、前年同期比0.9%減とほぼ横這いに留まりました。

このような状況のなか、当連結会計年度における当社グループ売上高は、グローバルな自動車生産の増加や海外での営業拡販などにより45,020百万円（前年同四半期比8.4%増）となりました。

利益面では、売上増加に伴う利益増や合理化効果はありましたが、インドネシアほか世界的に原材料価格が上昇し、海外での労務費も上昇するなど製造コストが増加したことにより営業利益は3,032百万円（前年同四半期比3.6%減）、経常利益は3,719百万円（前年同四半期比5.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,286百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。

中間配当につきましては、最近の業績および配当性向などを総合的に勘案し、1株当たり70円を平成30年12月6日よりお支払させていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月



### 決算ハイライト

売上高  
**45,020**百万円  
前年同四半期比8.4%増



営業利益  
**3,032**百万円  
前年同四半期比3.6%減



親会社株主に帰属する四半期純利益  
**2,286**百万円  
前年同四半期比12.6%減

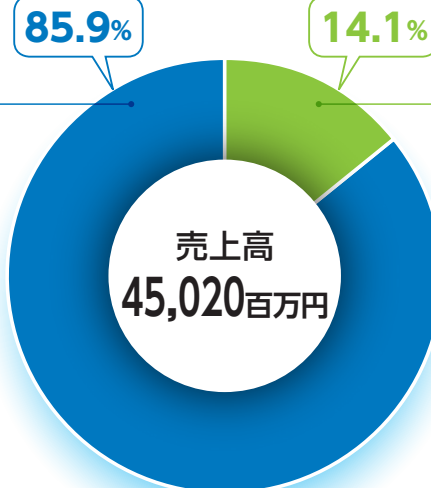
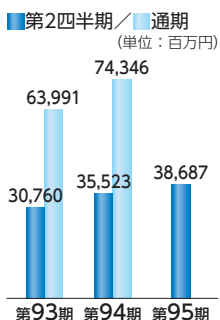


### 事業別の概況

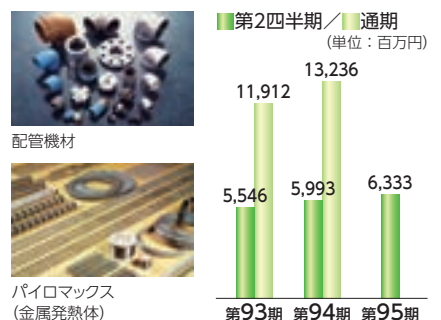
当社グループは、生産・販売体制を基礎とした製品別セグメントから構成されており、製品の内容、製品の販売市場等の類似性を基に、ピストンリング、カムシャフト等の「自動車・産業機械部品事業」を報告セグメントとし、「自動車・産業機械部品事業」に含まれない配管機器事業、EMC事業及び熱エンジニアリング事業等を「その他」の区分としています。

#### セグメント別売上高構成比

**自動車・産業機械部品事業**  
セグメント売上高 **38,687**百万円  
前年同四半期比 **8.9%**増



**その他事業**  
セグメント売上高 **6,333**百万円  
前年同四半期比 **5.7%**増



# 株式会社リケン及びグローバルグループ各社

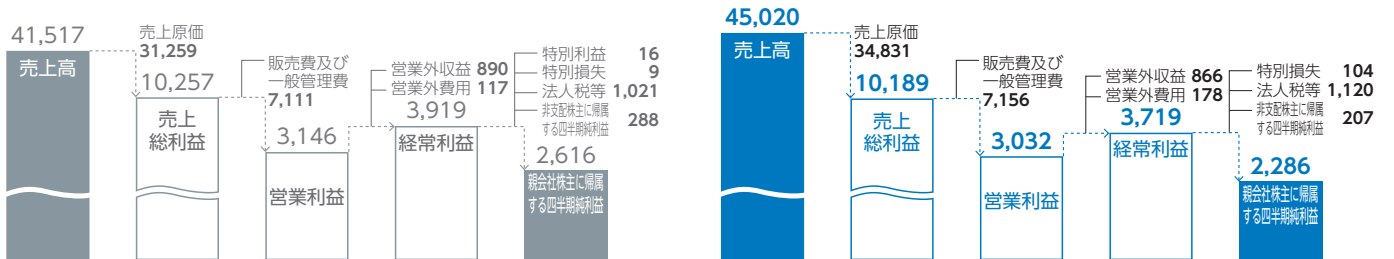


## 連結財務諸表

第94期第2四半期連結累計期間  
平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

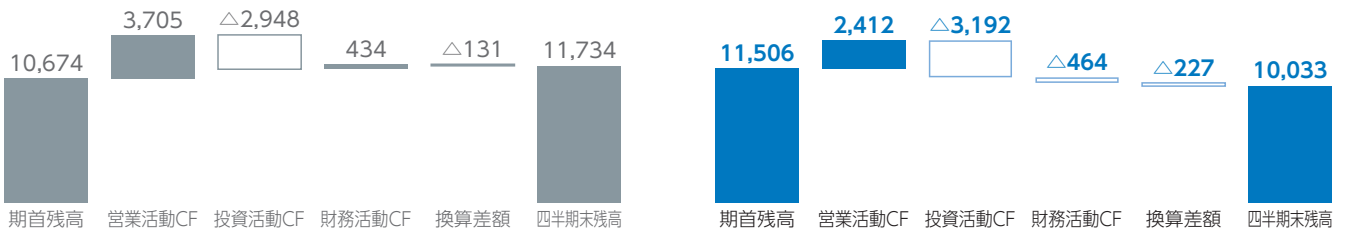
第95期第2四半期連結累計期間  
平成30年4月1日 ▶ 平成30年9月30日

### ● 連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

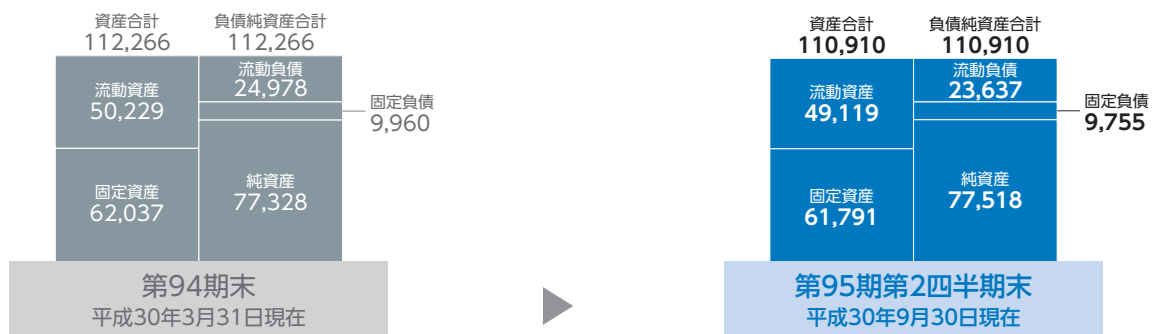


### ● 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)

※ CF=キャッシュ・フロー



### ● 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



決算等に関する詳細情報は、当社ホームページにてご確認ください。 <http://www.riken.co.jp/ir/>





## 会社の概要

創 業 昭和2年  
設 立 昭和24年12月  
資 本 金 85億7千3百万円 (平成30年9月30日現在)  
従 業 員 数 1,456名 (平成30年9月30日現在)

### 〔主要な事業内容〕

下記製品の製造および販売

当社グループは、ピストンリング、カムシャフトをはじめとした自動車・産業機械部品と鋼管・ステンレス管用継手、電波暗室、電熱線等のその他産業向け製品の製造・販売を主要な事業(下記ご参照)としており、国内および海外にてグローバルに展開しております。

- 自動車・産業機械部品事業部門  
ピストンリング、カムシャフト、バルブリフター、バルブシート、シールリング、素形材部品等
- その他  
鋼管用継手、ステンレス管用継手、電熱線、工業炉、電波暗室、電波吸収体等

## 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株  
発行済株式総数 10,648,466株 (自己株式781,585株を含む)  
株 主 数 7,854名 (前期末比243名減)  
大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	486,350	4.93
日本生命保険相互会社	428,955	4.35
日立金属商事株式会社	356,475	3.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	355,700	3.60
株式会社第四銀行	320,242	3.25
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVI01	315,800	3.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	306,900	3.11
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SS8TC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS- UNITED KINGDOM	306,100	3.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	280,400	2.84
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS IN LSCB RD	266,300	2.70

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 取締役・監査役・執行役員 (平成30年9月30日現在)

役 職	氏 名
代表取締役会長	岡 野 教 忠
代表取締役社長 (CEO兼COO)	伊 藤 健 一 郎
代表取締役副社長 (CTO)	高 木 健 一 郎
取締役常務執行役員	高 木 一 嘉 則
取締役常務執行役員	前 川 泰 則
取締役常務執行役員	早 坂 茂 昌
取 締 役	ドナルドE. マクナルティ
取締役 (社外取締役)	兼 元 俊 徳
取締役 (社外取締役)	平 野 英 治
常 勤 監 査 役	中 谷 昇 昇
常勤監査役 (社外監査役)	広 井 秀 美
監査役 (社外監査役)	岩 村 修 二
常 務 執 行 役 員	佐 藤 元 裕 晃
執 行 役 員	国 藤 井 多 加 志
執 行 役 員	藤 井 矢 裕 之
執 行 役 員	大 坂 場 秀 博
執 行 役 員	山 口 雅 昭
執 行 役 員	種 村 由 紀 雄
執 行 役 員	渡 辺 孝 栄
執 行 役 員	小 林 弘 幸
執 行 役 員	大 橋 尚
執 行 役 員	大 橋 尚 聡
執 行 役 員	岡 登 志 夫

## 株式についてのご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基 準 日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
(なお、中間配当を行う場合は9月30日)  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国の各支店で行っております。  
公告の方法 当社の公告は電子公告 (当社ホームページ) により行います。  
<http://www.riken.co.jp>  
ただし、電子公告によることができないときは日本経済新聞に掲載して行います。

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

当社ホームページは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。

今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。

<http://www.riken.co.jp/>

